



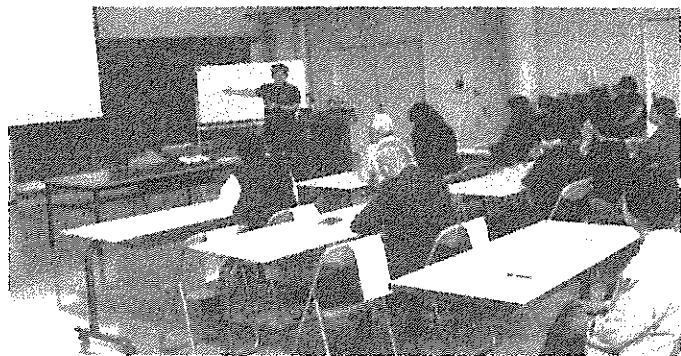
PTA 会員の皆さまへ

平成30年7月5日

船橋希望学舎  
世田谷区立船橋小学校  
PTA 会長 福江仁美  
研修グループ

## 平成30年度 第一回家庭教育学級 報告書

テーマ： 『子どもたちが“幸せな人生を送るために必要なチカラを考えよう”  
～学校教育が目指す資質能力育成や ICT/プログラミング教育など～』  
講師： インテル株式会社 教育事業開発推進担当部長 竹元 賢治 氏  
日時： 平成30年6月15日（金） 10：30～11：40  
場所： 船橋小学校 多目的スペース  
参加人数： 71名



平成30年度第一回家庭教育学級では、インテル株式会社の竹元賢治氏にご講演をいただき、大変興味深いお話を伺うことができました。

子どもたちが成人する「2030年」、グローバル化・複雑化する社会の中で活躍できる人材へと育つためには、「21世紀型スキル」と呼ばれる資質・能力を伸ばすための教育を受けて、これからの時代に適応できるチカラを身に着けることが必要だというお話を伺いました。

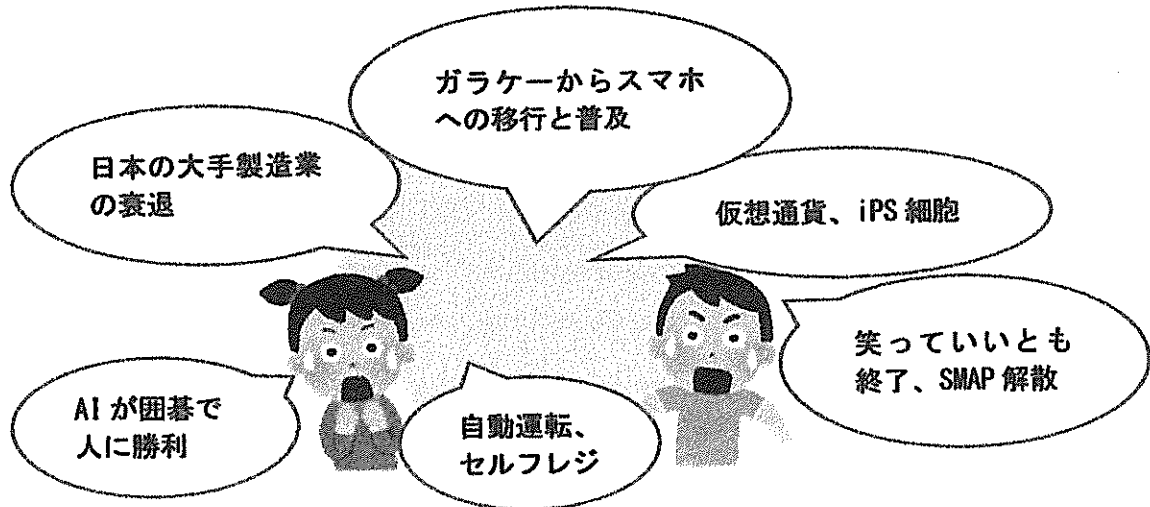
子どもたちが明るい未来を期待し幸せな人生を送ることができるように、地域社会や学校、企業、そして家庭という社会全体で子どもたちと関わり、教育をサポートしながら育んでいくことが重要だということをお話いただきました。

講演会は保護者同士が時代の変化について話し合う時間もあり、ときには笑い声も聞こえる楽しい雰囲気の中、大変勉強になる充実した時間となりました。

今回の講演会を通して今後子どもたちとどのような視点を持って関わり、教育していけばいいのかについて考える良い機会になったのではと、研修グループ一同大変嬉しく思っております。

当日は多数のご参加をいただきありがとうございました。また、今回の講演会開催にあたりご協力いただきました保護者の皆様には厚くお礼申し上げます。

◆ 過去 10 年間の時代の移り変わり  
 \* 10 年前 (2008 年) の自分に伝えたらビックリすること






⇒ たった 10 年間でこれだけの変化が起きている。  
 しかし、時代の変化を誰もが当たり前を受け入れてきた。

◆ 2030 年代の社会 (子どもたちが活躍する社会)

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>超高齢・少子化社会</b><br/>平均寿命 100 歳+</p> <p>寿命は 100 歳を超える。成人年齢は 18。人生や教育への考え方が変わる</p>        | <p><b>グローバル・多様化社会</b><br/>世界人口 85 億人+</p> <p>さらにグローバル化、多様化、複雑化する社会が到来する</p> | <p><b>スマートマシン社会</b></p> <p>AI 製品、自動運転、ドローン、ロボットなどが普及し、人々の生活がより便利になる</p> |
| <p><b>コンピューティング社会</b><br/>接続機器 500 億台+</p> <p>あらゆる機器がネットワークに接続し、データを活用する (IoT、ビッグデータ活用)</p> | <p><b>コネクテッド社会</b></p> <p>SNS やクラウド上での仕事や協働作業により、働き方や生活が変化する</p>            | <p><b>ニューメディア社会</b></p> <p>拡張・仮想現実など新しい次世代メディアが登場。セキュリティやモラルへの対応が必要</p> |

◆ 現時点で企業や社会が採用する人材に最も求めている能力は？

|   |            |          |
|---|------------|----------|
|  | コミュニケーション力 | 4 位: 協調性 |
|  | 主体性        | 5 位: 誠実性 |
|  | チャレンジ精神    |          |

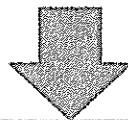
2004 年から 14 年間連続で、コミュニケーション力が第 1 位 (経団連調べ)。  
 経団連に所属する企業の 82% が圧倒的に求めているチカラである。

◆コミュニケーション力とは、具体的にどんなチカラ？

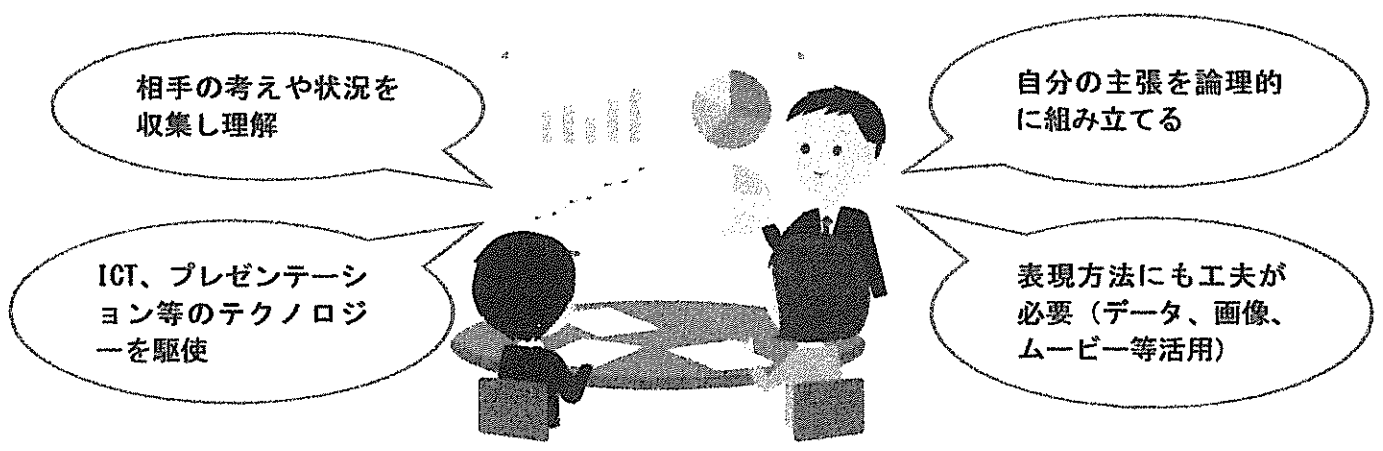
将来のビジネス現場では様々な言語、育ってきた環境や考え方を持つ人たちと共に働き、合意を得ながら事業を進めることが大半である。そこではお互いに建設的に意見を出し合い議論する必要がある。

より良いゴール（合意）のために意見はぶつかり合うが、相手の求めていることを想像し、考えを理解することで、相手との間に共感と調和が生まれる。共感を得たうえでお互いが1つのゴールに向かって自分の主張を最大限織り込みながら妥結していくことにより、より高い組織力が生まれパフォーマンスを発揮できる。

それを達成するためには、論理的思考力、意思伝達力、想像力、表現力、ICTなどのテクノロジーを活用する力が重要になる。



コミュニケーション力とはこれらの要素が複合的に含まれたチカラのこと



⇒これを「21世紀型スキル」と呼ぶ。

日本でも2020年から資質・能力育成のための本格的な教育が始まる。

2030年に大人になる子どもたちには必ず必要となる資質・能力。

< “倅せな人生を送る” ために必要なチカラ >



**21世紀型スキルの定義**

基礎的・基本的な知識技能を通して、思考し、判断し、表現し、異質（考えや能力）な他者と協力して世の中の複雑な社会的課題を解決できるよう、生涯にわたって学び続ける能力。

- ① 知識及び技能
- ② 思考力、判断力、表現力等
- ③ 学びに向かう力、人間性等

◆ 2030 年代社会に適応するためにどのような教育が必要になる？

|                        |                       |                            |                   |
|------------------------|-----------------------|----------------------------|-------------------|
| ICT 利活用教育 /<br>情報モラル教育 | 21 世紀型スキル<br>/ キャリア教育 | プログラミング教育 /<br>STEM 教育 (※) | 国際理解教育 /<br>外国語教育 |
|------------------------|-----------------------|----------------------------|-------------------|

(※) STEM 教育… 科学・数学・技術領域に重点をおく教育

◆ プログラミング教育導入の目的

コンピュータなどの動作やシステム全体の仕組みを理解するため。  
さらに、プログラミング教育は物事を論理的に考える思考力を養う。  
論理的思考力は、仕事や生活の様々なシーンでの課題解決に役立つ。

⇒ 課題解決には手順を追い情報を整理して、理路整然と解決していく必要がある。  
コンピュータを使ったプログラムの中でその考える力を育てていく。

◆ 小・中学校の次期学習指導要領等の改訂のポイント (2020 年～)

- ・ 生きる力を育む「主体的・対話的で深い学び」  
知識を活用し、自ら考え・学び続けるためにアクティブ・ラーニングの導入
- ・ 教科横断的なカリキュラム・マネジメント  
教科の学習だけでなく、資質・能力を育成するためのカリキュラム編成
- ・ 情報活用能力を言語能力と同等に位置づけ  
テクノロジー社会を生き抜くために、テクノロジーを活用する力を育成
- ・ 外国語活動（英語）の教科化  
4 技能（聞く、話す、読む、書く）による使える英語力の育成
- ・ 道徳の教科化  
グローバルかつ、多様性ある社会の一員になるための素質を育む

⇒ 学習指導要領改訂に伴い大学入試は 2024 年に本格的に変わる。

マークシート式から記述式へ。

単純に知識を覚えるだけではなく、知識を活用して応用しながら自分の考えを  
きちんと伝えられ、自ら学びを深められる人材を大学や社会、企業は求めている。

◆ 次世代に望むことはイノベーション（技術革新）

イノベーションは一つ一つ課題を解決した先にあるもの。

課題解決のためには、問題を発見する力、解決する力、ICT を活用する力が必要。

そして、イノベーションのためには新たなものの見方、考え方が必要。

持っている知識や技能の中からどんなものを新しく創っていくのか、どう考えるか  
という創造的な思考力が重要である。そして、それらは時代に必要となる知識や技能、  
モラルの上に成り立っていくものである。

これらを上手くこれからの教育に組み込んでいく必要がある。

⇒ 子どもたちの作せな人生のために、資質・能力をどう育成するかを  
社会全体で考えていくことが 非常に重要である。

## <講演後アンケート>

- ・ 21世紀型スキルというものを初めて聞いた。
- ・ 子どもたちの能力を伸ばすために、物事をとらえる力、伝える力、自発的に動く力、考える力をどのように身に着けさせるか、そして親が出来ることは何かについて考えさせられた。
- ・ 2030年という具体的な設定でとてもイメージしやすかった。
- ・ メモした内容を家族と共有したい。
- ・ 大人の10年はあっという間だが、子どもにとっての今後10年は長いので充実させて過ごしたいと思った。
- ・ 世の中が今後大きく変わるという事を分かりやすく教えていただけた。
- ・ 10年～20年先の社会を考えると不安が先行するが、常識的なことや人間力に関して親が責任をもって教育しなければ、と感じた。
- ・ 次世代の子どもたちに求められているチカラ、将来について勉強になった。
- ・ これからの未来のことを家族でも話し合ってみたいと思った。
- ・ 遠い未来のことだと感じていたが、21世紀型スキルやプログラミング教育を受けるべき時期がすでに来ているという事を改めて実感した。
- ・ 自分が子どものころの経験や環境と現在を比べることばかりをしていたので、親も10年～20年先のことに目を向けていかなければならないと感じた。
- ・ 成人年齢の引き下げに伴う今後の子どもたちの目指すべき資質について多くの情報を得られた。
- ・ コミュニケーション能力を育む重要性を理解できた。
- ・ 講演者の話が上手く、よく理解できた。
- ・ とても分かりやすくもう少し時間が欲しかった。
- ・ 21世紀型スキルを身に着けるためには、子どもの考える力、伝える力を育む必要があると感じた。
- ・ これからの人生や生活の中にAIを始めとするテクノロジーが介入してくることがわかり不安を感じる反面、子育てにどのようなメリットがあるのかを考えるきっかけとなった。
- ・ 社会、学校、家庭が一体となって教育を推進していくことが重要ではないかと感じた。
- ・ 将来子どもたちが社会から求められる能力の変化に伴い、現在教育現場が変わっていく過渡期であることがよく理解できた。
- ・ 今後グローバル化が進む中で、言語や考え方の違う人たちと協力していくスキルの重要性がよく理解できた。
- ・ 目まぐるしく変わっていく教育に対して先を見据えて整理できた。
- ・ 今後の生活に活かしていきたい。

貴重なご意見ご感想、ありがとうございました。